

ほんごう

札幌市立本郷小学校
学校だより

令和7年5月30日

No. 3

本郷小のインクルーシブ教育について

インクルーシブ担当教諭 長田 リカ

インクルーシブ教育とは、多様な子どもたちが同じ場で一緒に学び、成長していくための教育のしくみです。さまざまな環境にある子どもたちがおたがいを大切にしながら学ぶことで、だれもが安心して暮らせる「共に生きる社会（共生社会）」をつくっていくことを目指しています。『令和7年度札幌市学校教育』では「インクルーシブ教育システムの構築」を重点（どの園・学校においても特に充実を図っていく全市共通の取組）として掲げています。

本校の特別支援学級（ひまわり学級）には、1～6年合わせて25人在籍しています。年度始めに一人ひとりの交流学級を決定し、教員の引率のもと、生活・図工・体育・総合など交流学級での学習に参加しています。児童によっては国語や算数といった学習も交流学級で取り組んでいます。また、教科学習以外でも委員会やクラブ活動、昨年度から始まったランチルーム給食も共に過ごす場となっています。一緒に活動するなかで、さまざまな体験を共有し、おたがいの理解やつながりが少しずつ深まっていくことを願っています。

一昨年度から、ひまわり学級のプレイルームで中休みに一緒に遊ぶ「プレイルーム交流」を行っています。「また遊びたい!」「次はいつあるの?」という声に応えて今年度は希望する児童がより多くこの「プレイルーム交流」ができるよう計画中です。遊びのなかで生まれるやさしさや思いやりを大切にしながら、子どもたちが自然にかかわり合える場をつくっていきたいと思います。

昨年度からひまわり学級の教室に通常学級の教員が来て授業を行う機会も取り入れています。普段とは違う教員の教え方や話に、子どもたちは目を輝かせ、いきいきと学ぶ姿が見られました。また、ひまわり学級の教員が、通常学級の授業に入り、担任の先生とともに子どもの学習支援を行いました。子ども一人一人が、安心して自分の思いを出しながら学習できるようサポートしています。

子どもたちがお互いを大切にしながら安心して、自分らしく学べるように、教職員一同で力を合わせて取り組んでいきます。

放課後の帰宅時刻にご配慮願います

最近、日が長くなったことも関係しているのか、子どもたちが遅い時間まで外出している姿を見かけます。過去には、友達と帰宅時刻が異なることでトラブルにつながることもありました。子どもたちの安全のため、帰宅時刻についてご家庭でも改めてご確認をお願いします。本校では、日が暮れてからでは危険なため、帰宅時刻を5時と指導しております。特別な場合を除き、夜間の外出はできるだけ控えていただき、学校・家庭・地域で協力して、子どもの成長を見守っていきたいと思います。